

令和5年度 第4回学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和6年2月19日(月) 13時45分から15時20分まで
- 2 開催場所 与進北小学校 ひだまり
- 3 出席委員 稲田 定彦、栗田 孝代、平尾 賢弘、中根 その美
田光 美智代、富田 真悟、岩本 晃輔、佐藤 真
石田 みゆき(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 村田 弘貴(長上協働センター主事)
- 6 学校 河合 勝之(校長)、古橋 拓実(教頭)、磯部 真代(CS担当)
瀧本 恵子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 瀧本 恵子

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、稲田会長から富田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを了承した。

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 来年度の学校運営基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について
- (4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)について

11 会議記録

司会の古橋教頭から、委員全員が出席しており、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任の磯部教諭から、別冊の学校評価アンケート集計結果について報告があった。

議長より、報告と資料について、意見や質問があるか確認があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ICTの教育でパソコン等に頼ってしまうことで、児童と先生方とのふれあいが減ってしまうのではないかと。先生とのコミュニケーションを図ることが大切で、その上でICTをうまく活用していくと良いと考えるがどうか。(稲田会長)

⇒ICTの効果的な活用ということで、タブレットを見ると子供の理解や考えを一目瞭然で把握できる。履歴にも残り、共有することができる。時代が変わっても、コミュニケーションという大事なものは変わらない。(磯部教諭)

・昔は先生が回って教えてくれた。一人一人に違った角度で話をしてくれた。昔のことで申し訳ないが、全部画面で見ると、少しでも子供と関わってもらいたいと思って質問した。(稲田会長)

・アンケート結果の保護者の言葉欄から、自分の時代と今の保護者との考えの違いを感じた。兄弟のいる人が書いていると思うが、幼稚園や中学校ではこうなのに小学校ではなぜやらないのか、と思っている親がいる。思っていることをはっきり言う親がいるのは良いことかもしれない。(石田委員)

⇒幼稚園と小学校では、学習指導要領が異なる。小学校は義務教育で学びの場であり、幼稚園は遊びや経験を中心として個を育てる場である。幼、小、中の接続が円滑に行くように、情報交換をしている。保護者も入学してから、だんだん違いをわかってくれる。丁寧に説明をしていくことは大事だ。(磯部教諭)

・プリントの裏に答えがあるというのはどういうことか。(石田委員)

⇒プリントをやったら、すぐに答え合わせをして確認することができる。プリントは生ものだと表現し、やったらすぐに確認して身につけることが大切。(磯部教諭)

・なぜそうしているのか親はわかっていない。(石田委員)

・親は自分の子供が裏の答えを見てプリントをやっていると思っている。(栗田委員)

⇒何のために裏に答えを載せているのか説明をしていく。(磯部教諭)

・子供たちがちゃんとわかっているから、意図を伝えれば親もわかってくれる。(栗田委員・石田委員)

・クラスによって違うということはないか。(田光委員)

・子供たちも戸惑わないように、学年での統一は必要だと思う。(栗田委員)

議長より、その他の意見や質問がないか確認があり、全員了承した。

(2) 来年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長より別紙資料の説明があった。また、校長が独自で行ったよきたアンケートの結果も別冊の資料で説明があった。

議長より、以上の説明から質問があるか確認があり、委員からは以下の発言があった。

・校長先生の話から、私たちの地域を大切に思ってくれていることが伝わった。温かい励ましや、一緒にやったださる心意気、優しさを感じた。ありがたい。(中根委員)

・話を聞いていると先生が大変なことを改めて感じた。先生が働きやすい学校になると良い。(稲田会長)

・担任以外の時間制の先生がいると良い。(稲田会長・石田委員)

・小さいお子さんのいる先生が多いので、子供の学校行事に休んで参加できると良い。

(石田委員)

⇒自分の子供の学校行事には、できるだけ行ってもらっている。時間制の勤務は、そういう制度(短時間勤務、部分休業等)はあるが、取得はなかなか難しい。全て当てはめることは、学校だけではなく、他の職場でも難しいだろう。(校長)

・第4回で来年度の話を書くことができ良かった。(栗田委員)

教頭より、来年度の学校運営基本方針について、本日承認でも来年度承認でも可能だが、どうするかの確認があり、栗田委員より、新しい委員も参加する来年度での承認を求める意見が出て、承認は来年度になった。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭より資料の説明があり、抜粋のため熟議の依頼があった。

議長より、資料について意見の確認があり、委員からは以下の発言があった。

・与北カフェの活動から、先生や子供たちとの会話を通して、普段学ぶことができないことを学ぶことができた。そのことを盛り込んでほしい。(平尾委員)

⇒委員自身の学びになったということで良いか。(議長)

⇒はい。(平尾委員)

⇒学校支援活動の2に盛り込みたいと思う。(教頭)

(4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)について

議長の指示により、教頭より資料の説明と報告があった。

議長より、説明と報告について意見の確認があり、全員異議なく了承した。

12 その他、連絡事項等

CS担当の磯部教諭より、別紙「令和6年度 年間の主な行事(仮)」より学校運営協議会の日程の説明があった。また、2月7日に行われた、参観会でのひだまりの活用について報告があった。

校長より、きんもくせいの会と図書整備ボランティアが、ふるさと貢献賞を受賞した報告があった。また、本校教員がはごろも教育賞を受賞し、磯部教諭が中日教育賞を受賞した報告があった。

教頭より、今年度卒業式と来年度入学式の来賓についての連絡があった。